



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840  
**TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB**  
*Symphony Weekly*



ゲイリー C.K.ホアン 2014-15年度R1会長

No. 14

会幹 長事 君島准逸  
 クラブ会報委員長 飯島芳臣  
 第4週 小野垣義男  
 例会 2014年11月28日(金)  
 例事 毎週金曜日 12時30分  
 会務 会場 ホワイトイン高崎  
 所 高崎市本町144-1

光明第7ビル202号室  
 TEL 027-328-3371  
 FAX 027-328-3372  
<http://www.takasakisympathy-rc.org>  
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員 浅見洋子  
 本日のプログラム 会員卓話 金子秀隆君  
 ロータリーソング それでこそロータリー

委員会報告

- ・御誕生日祝  
 小野垣義男君  
 保坂憲夫君  
 西野宏君  
 池田貴明君  
 横田雅則君  
 吉本賢二君
- ・結婚記念日祝  
 福村平八郎君  
 駒井和子君  
 君島准逸君  
 林章君



11月誕生日祝

・ニコニコBOX

和田孫博君(神戸東灘RC)  
 (先週は遠くから御参加ありがとうございました。今日はよろしくお願ひいたします。)

- 君島准逸君(和田先生をお迎えして。神戸では大変お世話になりました。)
- 横山正男君( // )
- 船渡川信幸君( // )
- 吉本賢二君( // )
- 豊泉君代君(和田先生をお迎えして。神戸では大変お世話になりました。)
- 手島均君( // )
- 島崎真澄君( // )
- 長井典夫君( // )
- 泉省平君( // )
- 井汲憲治君( // )
- 白石隆夫君( // )
- 八木建司朗君( // )
- 高橋正光君(明後日、東京で息子の結婚式です。)
- 高橋栄江君(和田先生をお迎えして。神戸では大変お世話様になりました。)
- 宮田正枝君(和田先生をお迎えして)
- 橋爪健君( // )
- 林章君( // )
- 小野垣義男君(御誕生日祝)
- 保坂憲夫君( // )
- 西野宏君( // )
- 池田貴明君( // )
- 横田雅則君( // )

第861回例会報告

第2週11月14日(金)

御来訪者 1名  
 神戸東灘RC 和田孫博君



出席報告

会員数	41名
出席計算人数	33名
本日出席者	名
本日出席率	80.49%
先々週出席率	休会

幹事報告

- ・例会変更
- ・ハイライトよねやま
- ・ミニサッカー大会御礼  
 鐘の鳴る丘少年の家 園長 木村様より



吉本 賢二君 (御誕生日祝)  
君島 准逸君 (結婚記念日祝)  
林 章君 ( " )

・ロータリー財団BOX

吉本 賢二君 泉 省平君  
長井 典夫君 金子 秀隆君  
井汲 憲治君 白石 隆夫君

・米山奨学会BOX

吉本 賢二君 長井 典夫君  
橋本 勝廣君



米山功労賞



ポールハリス、米山功労賞



新入会員 発地富士夫君

次回例会予告

第1週12月5日(金)

会長の日 君島 准逸 会長



「国際ロータリーのロータリー財団」

(The Rotary Foundation : T R F) について

金子 秀隆

ロータリー財団は「ロータリアンが、世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」を使命とし、「世界でよいことをしよう」を標語としています。

1917年、当時、ロータリークラブ連合会(後のR I)会長だったアーチ・クランプは、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された年次大会で、「ロータリーが基金を

つくり、全世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案・採択されました。ロータリー基金(T R Fの前身)への最初の寄付は、カンザスシティーロータリークラブから寄付された26.5\$でした。

その後、基金総額が5,000\$に達した1928年のミネアポリス国際大会で、この基金による事業開始の時が来たとして、基金の名称をロータリー財団と改め、元R I会長からなる管理委員会が運営するR Iから独立した組織となりました。

1947年1月27日、ロータリーの創始者ポール・ハリスが亡くなると、「ポール・ハリス記念基金」に多くの人々から寄付が寄せられ、翌年には海外で高等教育を受ける18件の奨学金が授与されました。これが国際親善奨学金の前身です。

また、1965~66年にはG S E (現V T T)などが開始され、1978年より3 Hプログラムより発展したポリオプラスプログラムが1985年に設置されました。1987~88年からはロータリー平和フェロシップも胎動します。そして2013年「未来の夢計画」を始動させました。

「未来の夢計画」は、3年前の年次寄付・恒久基金の運用益の50%が地区財団活動資金(DDF)としてこの原資となります。これを地区補助金とグローバル補助金で折半します。本年度はそれぞれ700万円ほどが地区からの支援が可能とのことです。

地区補助金は50万を上限とし、各クラブが同額以上を拠出し事業を18ヶ月以内に行います。グローバル補助金は15000~200000\$規模でT R F 提唱の6つの重点分野に対する事業を海外のR Cと共に進めます。この場合、国際財団活動資金(W F : D D Fと同額)も利用できます。

寄付の入り口は大きく分けて3つあります。年次寄付・恒久基金・用途指定寄付です。年次寄付はR Iでは一人毎年100\$を推奨し、本年度地区目標では150\$となっています。恒久基金は取り崩す事はなく運用益のみを資金としています。用途指定寄付の代表的なものには、ポリオプラスプログラムがあります。

これらはそれぞれ認証システムを伴います。年次寄付・ポリオプラスに関しては、累計1000\$でポールハリスフェローが授与されます。以後1000\$毎にマルチプルポールハリスフェローが贈られます。恒久基金に1000\$以上寄付するとベネファクターとなります。これらを合計して10000\$となると大口寄付者(メジャードナー)の認証がなされます。

これらの寄付については、ロータリー日本財団を経由することで、税制上の優遇措置がなされています。個人の税額控除では10万円の寄付に対し約4万円です。所得控除に切り替えたほうが有利になる場合もありますので、確定申告の時にご相談なさってください。ロータリー日本財団からは上期分・下期分の年2回の領収書が発行されています。